

栄養成分表示に関する改正内容（案）について

令和 6 年12月
消費者庁食品表示課

《概要》 栄養成分表示に関する改正案について

- 「別表第9」：食物繊維における許容差の範囲等の見直し。
ビタミンB群における測定法の追加。
- 「別表第10」：日本人の食事摂取基準（2025年版）の公表
を踏まえた栄養素等表示基準値の見直し。
- 「別表第12」：栄養素等表示基準値の見直しに伴う、栄養成分
の補給ができる旨の表示の基準値の見直し。

食物繊維の許容差の範囲等について

- 2023（令和5）年度に国内7か所の分析試験機関において、9種類の栄養成分に関する分析試験を行い、測定値の試験室間誤差を検討。
- 食物繊維については、低含有量である場合、大きな試験室間誤差が生じるため、①許容差の範囲の見直し、②0と表示することができる量の規定を追加する等、食品表示基準別表第9に規定している許容差の範囲等を改正予定。

栄養成分 及び熱量	表示の 単位	測定及び 算出の方法	許容差の範囲		0と表示 することができる量
食物繊維	g	プロスキー法 又は高速液体 クロマトグラ フ法	現行	±20%	
			改正案	±20% （ただし、当該食品100g当たり （清涼飲料水等にあつては、 100ml当たり）の食物繊維の量 が2.5g未満の場合は±0.5g）	0.5 g

栄養成分等の測定及び算出の方法について

- 2020（令和2）年度に「食品表示基準における栄養成分等の分析方法等に係る調査検討事業」を実施し、次の対応方策を提言。

栄養成分及び熱量	測定及び算出の方法	対応方策※
脂質	溶媒抽出－重量法※ ¹	食品表示基準別表第9第3欄における分析方法を統合整理
クロム、セレン、ヨウ素	誘導結合プラズマ質量法※ ¹	同基準別表第9第3欄に追加
ビタミンB群	高速液体クロマトグラフ法	詳細な分析方法等の検討が必要
脂質（卵、卵製品）	ヘキサノーイソプロパノール法※ ²	日本食品標準成分表2020年版（八訂）分析マニュアルにおける分析方法の確認が必要
食物繊維	AOAC.2011.25法※ ²	

※¹ 2022（令和4）年3月に「食品表示基準別表第9第3欄」及び「食品表示基準について 別添 栄養成分等の分析方法等」に追加

※² 2022（令和4）年8月に「食品表示基準について 別添 栄養成分等の分析方法等」に追加

- 2023（令和5）年度にビタミンB群における高速液体クロマトグラフ法について検討を行ったため、食品表示基準別表第9に規定している栄養成分等の測定及び算出の方法を改正予定。

栄養成分等の測定及び算出の方法(別表第9)の現行と改正案

栄養成分 及び熱量	表示の単位	測定及び算出の方法		許容差の範囲	0と表示する ことができる 量
パントテン酸	mg	現行	微生物学的定量法	+80%、 -20%	
		改正案	微生物学的定量法 <u>又は</u> <u>高速液体クロマトグラ フ法</u>		
ビタミンB6	mg	現行	微生物学的定量法	+80%、 -20%	
		改正案	微生物学的定量法 <u>又は</u> <u>高速液体クロマトグラ フ法</u>		
ビタミンB12	μg	現行	微生物学的定量法	+80%、 -20%	
		改正案	微生物学的定量法 <u>又は</u> <u>高速液体クロマトグラ フ法</u>		

《概要》 栄養成分表示に関する改正案について

- 「別表第9」：食物繊維における許容差の範囲等の見直し。
ビタミンB群における測定法の追加。
- 「別表第10」：日本人の食事摂取基準（2025年版）の公表
を踏まえた栄養素等表示基準値の見直し。
- 「別表第12」：栄養素等表示基準値の見直しに伴う、栄養成分
の補給ができる旨の表示の基準値の見直し。

令和5年度 分かりやすい栄養成分表示の取組に関する検討会

検討項目

分かりやすい栄養成分表示の取組として、我が国における包装前面栄養表示（以下「FOPNL」という。）の在り方等について検討を行う。

スケジュール及び進め方

分かりやすい栄養成分表示の取組等について、2023（令和5）年度中に3回程度検討を行い、日本版FOPNLの基本的な方向性の中間取りまとめを作成する。

- ・ 第1回 2023（令和5）年11月2日
- ・ 第2回 2024（令和6）年1月31日
- ・ 第3回 2024（令和6）年3月12日

構成員

五十音順・敬称略

氏 名	所 属
阿部 絹子	公益社団法人 日本栄養士会 常務理事
石見 佳子	東京農業大学 総合研究所 教授
坂口 景子	淑徳大学 看護栄養学部 栄養学科 講師
竹林 純	国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所 食品保健機能研究部 食品分析・表示研究室長
戸部 依子	公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
中村 伸一郎	オール日本スーパーマーケット協会 常務理事
森田 満樹	一般社団法人 Food Communication Compass 代表
渡邊 健介	一般財団法人 食品産業センター 参与



《中間取りまとめ》 我が国におけるFOPNLの検討の方向性

- 我が国の栄養課題を解決するために重要な栄養成分等として、日本版FOPNLの対象となり得る栄養成分等は、義務表示に位置付けられている熱量、たんぱく質、脂質、炭水化物、ナトリウムとすること。
- 栄養成分等の量の表示を利活用しやすくするために、対象となる栄養成分の量に加え、栄養素等表示基準値に占める当該量の割合を表示すること。
- 食品関連事業者の実情を踏まえて自主的な取組を推進するため、任意表示の取組と位置付けた上で、一定のルールが必要であること。

令和6年度 日本版包装前面栄養表示に関する検討会

検討項目

分かりやすい栄養成分表示の取組として、令和5年度に引き続き、我が国におけるFOPNLの在り方等について検討を行う。

スケジュール及び進め方

日本版FOPNLの具体について、2024（令和6）年度中に5回程度検討を行い、日本版FOPNLのガイドライン原案を作成する。

第1回	2024（令和6）年7月24日
第2回	2024（令和6）年8月27日
第3回	2024（令和6）年12月24日予定
第4回	2025（令和7）年1月以降
第5回	2025（令和7）年2月以降

構成員

五十音順・敬称略

氏名	所属
阿部 絹子	公益社団法人 日本栄養士会 常務理事
石見 佳子	東京農業大学 総合研究所 教授
河野 浩	一般財団法人 食品産業センター 事業推進部 次長
坂口 景子	淑徳大学 看護栄養学部 栄養学科 講師
竹林 純	国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所 食品保健機能研究部 食品分析・表示研究室長
戸部 依子	公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
中村 伸一郎	オール日本スーパーマーケット協会 常務理事
森田 満樹	一般社団法人 Food Communication Compass 代表

主な論点

- 我が国における包装前面栄養表示は消費者の健康の保持・増進に資する取組であることを前提としつつ、加工食品の製造等を行う食品関連事業者が当該制度を理解し、導入しやすい日本版包装前面栄養表示ガイドライン原案
- 消費者の視認性を高める取組であることを前提としつつ、食品関連事業者がデザインする食品のパッケージとの調和が図れるような日本版包装前面栄養表示の様式案
- 日本版包装前面栄養表示の食品表示基準における位置付け

栄養素等表示基準値等の改正について

現在、食品表示基準の栄養素等表示基準値については食塩相当量ではなくナトリウムの量であること、かつ、最新の日本人の食事摂取基準との整合性が取れていない状況であることなどから、現在、厚生労働省において検討されている日本人の食事摂取基準（2025年版）の策定を踏まえ、2024（令和6）年度を目途に、栄養素等表示基準値を見直すこととする。

（「我が国における包装前面栄養表示の検討の方向性」から抜粋）



- 「日本人の食事摂取基準（2025年版）」が、2024（令和6）年10月11日に公表されたことを踏まえ、食品表示基準別表第10に規定している栄養素等表示基準値を改正予定。
- 栄養素等表示基準値の改正に際しては、栄養素等表示基準値及び日本人の食事摂取基準等を根拠に基準値を決定している栄養強調表示の基準値（同基準別表第12）も併せて見直す。

《参考》 栄養素等表示基準値について

栄養素等表示基準値は、厚生労働省が定める「日本人の食事摂取基準」と人口推計を基にして、18歳以上の性別及び年齢階級別の栄養素の基準値を性別及び年齢階級ごとの総人口により加重平均した値である。

＜加重平均による栄養素等表示基準値の算出方法＞

栄養素等表示基準値（カルシウムの場合）＝

$$\left[\frac{(\text{男性18～29歳の指標}) \times (\text{男性18～29歳の総人口}) \cdots + (\text{女性75歳以上の指標}) \times (\text{女性75歳以上の総人口})}{(\text{男性18～29歳の総人口}) \cdots + (\text{女性75歳以上歳の総人口})} \right]$$

$$= \left[\frac{800\text{mg/日}(\text{男性18～29歳の推奨量※}) \times 7,696\text{千人} \cdots + 600\text{mg/日}(\text{女性75歳以上の推奨量}) \times 12,096\text{千人}}{7,696\text{千人} \cdots + 12,096\text{千人}} \right]$$

≒ 700 mg

※ 栄養成分によって「日本人の食事摂取基準」における推奨量以外にも、同基準における目標量、又は国民健康・栄養調査の結果等を用いて算出している。

栄養素等表示基準値（別表第10）の現行と改正案

栄養成分 及び熱量	単位	現行	改正案
たんぱく質	g	81	85
脂質	g	62	70
飽和脂肪酸	g	16	17
n-3系脂肪酸	g	2.0	2.0
n-6系脂肪酸	g	9.0	10.0
炭水化物	g	320	320
食物繊維	g	19	20
亜鉛	mg	8.8	8.5
カリウム	mg	2,800	2,800
カルシウム	mg	680	700
クロム	μg	10	10
セレン	μg	28	28
鉄	mg	6.8	6.5
銅	mg	0.9	0.8
ナトリウム	mg	2,900	2,700
(食塩相当量)	g	なし	7.0
マグネシウム	mg	320	320

栄養成分 及び熱量	単位	現行	改正案
マンガン	mg	3.8	3.2
モリブデン	μg	25	25
ヨウ素	μg	130	140
リン	mg	900	900
ナイアシン	mg	13	13
パントテン酸	mg	4.8	5.5
ビオチン	μg	50	50
ビタミンA	μg	770	770
ビタミンB ₁	mg	1.2	1.0
ビタミンB ₂	mg	1.4	1.4
ビタミンB ₆	mg	1.3	1.3
ビタミンB ₁₂	μg	2.4	4.0
ビタミンC	mg	100	100
ビタミンD	μg	5.5	9.0
ビタミンE	mg	6.3	6.5
ビタミンK	μg	150	150
葉酸	μg	240	240
エネルギー	kcal	2,200	2,200

現行から増える値：赤字 現行から減る値：青字

栄養素等表示基準値と栄養強調表示との関係

栄養強調表示の補給ができる旨の表示に係る基準値は、コーデックス委員会の定める「栄養及び健康強調表示の使用に関するガイドライン（CXG 23-1997）」の栄養参照量と栄養素含有量強調表示との関係※を基に、栄養素等表示基準値から算出されている。

栄養成分 及び熱量	単位	含む旨	高い旨	強化された旨
たんぱく質	100 g	栄養素等表示基準値の 10%	同基準値の 20%	・「含む旨」以上の絶対差 ・対象食品と25%以上の相対差
	100 ml	栄養素等表示基準値の 5%	同基準値の 10%	
	100 kcal	栄養素等表示基準値の 5%	同基準値の 10%	
食物繊維	100 g	3 g	6 g	
	100 ml	1.5 g	3 g	
	100 kcal	1.5 g	3 g	
ビタミン類、 ミネラル類 (ナトリウムを除く)	100 g	栄養素等表示基準値の 15%	同基準値の 30%	・同基準値の 10% 以上の絶対差
	100 ml	栄養素等表示基準値の 7.5%	同基準値の 15%	
	100 kcal	栄養素等表示基準値の 5%	同基準値の 10%	

※ 「栄養及び健康強調表示の使用に関するガイドライン」において、食物繊維は規定されていない。14

栄養強調表示（別表第12）の現行と改正案

栄養成分	単位	含む旨（100g当たり）		高い旨（100g当たり）		強化された旨（100g当たり）	
		現行	改正案	現行	改正案	現行	改正案
たんぱく質	g	8.1	8.5	16.2	17.0	8.1	8.5
食物繊維	g	3	3	6	6	3	3
亜鉛	mg	1.32	1.28	2.64	2.55	0.88	0.85
カリウム	mg	420	420	840	840	280	280
カルシウム	mg	102	105	204	210	68	70
鉄	mg	1.02	0.98	2.04	1.95	0.68	0.65
銅	mg	0.14	0.12	0.27	0.24	0.09	0.08
マグネシウム	mg	48	48	96	96	32	32
ナイアシン	mg	1.95	1.95	3.9	3.9	1.3	1.3
パントテン酸	mg	0.72	0.83	1.44	1.65	0.48	0.55
ビオチン	μg	7.5	7.5	15	15	5	5
ビタミンA	μg	116	116	231	231	77	77
ビタミンB ₁	mg	0.18	0.15	0.36	0.30	0.12	0.10
ビタミンB ₂	mg	0.21	0.21	0.42	0.42	0.14	0.14
ビタミンB ₆	mg	0.20	0.20	0.39	0.39	0.13	0.13
ビタミンB ₁₂	μg	0.36	0.60	0.72	1.20	0.24	0.40
ビタミンC	mg	15	15	30	30	10	10
ビタミンD	μg	0.83	1.35	1.65	2.70	0.55	0.90
ビタミンE	mg	0.95	0.98	1.89	1.95	0.63	0.65
ビタミンK	μg	22.5	22.5	45	45	15	15
葉酸	μg	36	36	72	72	24	24

現行から増える値：赤字 現行から減る値：青字